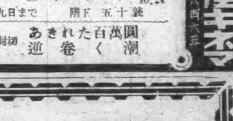
(-)

列 A 八月一十

極甲

昭和五年会院に上ても昭和五年会院に上ても昭和五年会院の場合に上である。本観官にしても昭和五年会院に於て二百五年が出版。一旦に同じ内閣統計局の調査にしても昭和五年会院の場合を設立する。 世生ずることは明かである。 大十億を超すで度に於て二百五年は計局の調査を主としたものは数表を根據とする所得税等を根據とする所得である。 大十億を超すて度に於て二百五年は計局の調査にしても国民所である。 大十億を超する方という。 大学があり、又 大学があり、というものである 大学があり、又 大学があり、又 大学があり、又 大学があり、というものである 大学があり、というものであり、というものであり、というものであり、というものであり、というものであり、というものであり、というものであり、というものであり、というものであり、というものであり、というものであり、というものであり、というものであり、というものであり、というものであり、というものであり、というものであり、というものであり、というものであり、というものであり、というものであり、というものであり、というものであり、というものであり、というものであり、というものであり、というものであり、というものであり、というものであり、というものであり、というものであり、というものであり、というものであり、というものであり、というものであり、というものであり、というものであり、というものであり、というないがあり、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、といりないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、というないが、といり、というないが、というないが、というないが、というない

1,0; 4,16 1,59 5,09 2,19 3,19





嗜御の様皆も最てしこンラトスレ食洋るけ於に京新 斯年十二去過て於に洋南たしまき開を店るず投に好 食試御ず先へ冴の腕の尾松主店るせ磨錬りは携に業

すまげ上申ひ願おを程の負債御く永末てつ有

の要認を詳細に訓示する處あり、引頼いて左の如き日程により所管各部大臣の訓示及び指示専項並に質疑雕答が行はれ、第一日の設定地方への要認を詳細に訓示する處あり、引頼いて左の如き日程により所管各部大臣の訓示及び指示専項並に質疑雕答が行はれ、第一日の近に戦方の要認を詳細に訓示する處あり、引頼いて左の如き日程により所管各部大臣の訓示及び指示専項並に質疑雕答が行はれ、第一日の設定、于首都警察應總監、特に日本側より來賓として大竹朝鮮總層府內務局長、西本(平安北道)笹川(成鏡南道)兩知事等参列開會、國族是以下各參議、于治安部大臣、松井最高顧問、花谷軍事顧問、遊佐馬政局長、省長側よりは金(奉天)御影池(東安)各省長等十八省長並に于新京特別是、丁首都警察應總監、特に日本側より來賓として大竹朝鮮總層府內務局長、西本(平安北道)笹川(成鏡南道)兩知事等参列開會、國族院第一會議室において開會、中央側より張國務總理大臣、星野總務長官、憲田、公南總務廳文長、扎與安局總裁、咸參議府職長、橋本同副の院第一會議室において開會、中央側より張國務總理大臣、星野總務長官、憲田、公南總務廳交長、扎與安局總裁、咸參議府職長、橋本同副の院第一會議室において開會、中央側より張國務總理大臣、星野總務長官、憲田、公南總務廳文長、扎與安局總裁、咸參議府職長、橋本同副の院第一會議室において開會、中央側より張國務總理大臣、星野總務長官、憲田、公南總務廳文長、扎與安局總裁、咸參議府職長、橋本同副の院第一會議室において開會、中央側より張國務総理大臣、星野總務長官、憲田、公南總務廳文長、扎與安局總裁、咸參議府職長、橋本同副の院第一日の計で、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、東京、日本の東京、日本の東京、東京、日本の東京、東京、東京、東京、日本の東京、東京、日本の東京、東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東京、日本の東 心兩面の戦國策强調

(米 單 田)

と保らをしを閾の表こ對過ら再わ し持は有難提は情明れす般の考れ

| 「 | 大學工績技術院教授 | 大學工績技術院教授 | 大学工績技術院教授

を拒

二日間に亘り國務院講堂に於 可法事務共助連絡會議は提案 可法事務共助連絡會議は提案

成果

0

1,23 5,03 8,41

12,00 3,39 7,18

天圆

喰 ふか 喰はれるか

12,00 3,20 12,30 3,50 1,23 4,43 2,25 5,43,

6,40 7,10 8,05 9,03 9,55

大久保產左衛門 2 - 7

(安東商工會理

國元首が

意表

エノケンの

3,40 7,50 12,00 4,00 8,20 10,40

自若散り

かねて市会署では 関都の 發展 かり何等かの 善處を各方面より が 萬態に止まり、 就學希望者 に反し滿系小市民の教育就態 である。

護國の英盤に



お天氣もだんだん恢復して 度以下にならないと本格的 しい豫報を齎じてゐるしてまた暖さをもり返し、 十一月牛ばを過ぎて零下十 と低温で頑張る國都市で寒さも今夜あたりを峠と ちのお天氣となりませう、 と低温で頑張る國都市

國都滿系教育普及へ

妻よ何處に

響して来た、新京ミルクプラ 選に「坊やのお乳」にまで影

破方を睨み「此地を一歩も退」げたものである
 破方を睨み「此地を一歩も退」げたものである
 破方を睨み「此地を一歩も退」げたものである

の華

若干名(成る可〈軍職既教育者)

催NO11

月十五日迄に履歴書及宮庭持念本人来談確實なる身元引受人を要す

洲與業銀行人事課

全滿股に詐欺 める「寫眞は飛行機

金融機關構充に關する件」に要望事項。議案「地方

たけることは當然金融とはは を取引化し、統制経済の配給は取引 の取拾を著しく制配 間的取拾を著しく制配 ではむ、又既物質の整条せる を放出することは當然金融を がなる。 を表述なる。 のである。 ので。 のである。 のでる。 ので。 のでる。 のでる。 のでる。 ので。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 ので。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 ので。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 ので。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 ので。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 ので。 ので。 のでる。 のでる。 のでる。 ので。 ので。 ので。 ので。 ので。 のでる。 のでる。 ので。 ので。 ので。 のでる。 ので。 ので。 のでる。 ので。 のでる。 ので。 ので。 ので。 ので。

月

第二民間飛行 イピスト養成所に行くと稱し 七日午前八時頃新競路菅沼タ 七日午前八時頃新競路菅沼タ 飛行機自由 で夫米文郎さんは八日中央通 署に捜査方顧ひ出た 防會館で

の金融機關と今日の金融機關との比較並にこれが試勢及びとの比較並にこれが試勢及びに動しどう考へるかについてに動しどう考へるかについては対象を対した。

賣

生なる放送 竹風長東の會演本▲明京の□「本人」で

田村画線監訓示 行ふものと見られる で大調和を開びて、なほ同氏は 東京に十二月廿日頃まで滞在 東京に十二月廿日頃まで滞在 東京に十二月廿日頃まで滞在 東京に十二月廿日頃まで滞在 東京に十二月廿日頃まで滞在 はか阿部首相とも重大會談を

場所 中一坪徐護度し 地坪五十六坪除建坪三 中華 0

◆年齡……十六歲以上(人に限る前) 婦人店員採用

新京寶山百貨店

宇 治 茶河 三商

銀

道而早急修理の上数日中に開店可住候間相變らず御愛 謝類焼 御見舞

四十二分素のぞみで入京、三外数名を常同八日午前十一時事項打合せのため称光情報官

けふ來京

大經路四馬路 食

商工公會總會第二日

自祉に於て延取引を

與業銀行支

総合作礼業務を

野する金融の途を要望す

事務員及土木技術員募集の計画を表現の一、自筆履歴書携帯本人来談市内に確實なる条準、工業學校卒業以上の技術員たることの者、工業學校卒業以上の技術員たることの表別に被逐年齢に依り相談に應ず、、着興は經歷年齢に依り相談に應ず、、 求貨事務室 人來談市内に確實なる保證人二名依り相談に應ず

八日より十四日まで六、 七所

興安師及本部 雇員要員募集

一、中等學校卒業程度
一、中等學校卒業程度
一、中等學校卒業程度
一、兵歷を有するものは優遇す
一、兵歷を有するものは優遇す
一、兵歷を有するものは優遇す
一、長歷を有するものは優遇す
一、長月子
一、大月子
一 大月子
一 大月子
一 大月子
一 大月子
一 大月子
一 大月子

廣瀨電々總裁

一、最終の所持人 新京特別市県智胡同二一、張出の年月日 康徳六年十月三十一日一、受取人 無記名

記名 代理人 坂木 伊介

殿標六年十一月六日

坂本静介

新新京

郎院

を承り度しむることを乗り策に關し政府のを乗り策に關し政府ののはいること

治安部官房

十十九 日日日 £3£ 晝夜

萬座前後の諸胸と其他各種骨

めの音は免れ



●一白の人 更角錐光の鈍り ・一白の人 更角錐光の鈍り ・一点き日萬事終を注意すべし ・一点を表と東が吉 ・市と西と範が吉 ・本等はると時は失敗すべし を等はると時は失敗すべし を等はると時は失敗すべし を等はると時は失敗すべし を変しるという。 ・一点の人 選び事のみに領 を変しるという。 ・一点の人 変ながられる。 ・一点の人 できながられる。 ・一点の人 できながられる。 ・一点の人 できながられる。 ・一点の人 できながられる。 ・一点の人 できながらない。 ・一点のしため、 ・一点のしため、

權太の小判

母の歌大會 12,00 3,04 6,08 七日より八日迄二日間

図 都 影 蔵院 竣工 市内長泰大街に新築中であつた映畵常設館國都影 臓院 域工 の程竣工、五日午前十一時から同所に於いて竣工式を奉行 した

1,45 4,49

もたは、 でで、 なが呼ぶ、「一部では、 を兵職のの大久保養を担いる。 を兵職のの後へこれば何もなる。 を一日限りのは、 をので、 を一日限りのは、 を見いる。 を一日限りのは、 を見いる。 をでして、 を見せて、 でであるで、 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででいる。 ででは、 ででいる。 でいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 でいる。 でい。 でいる。 でい。 でいる。 でいる。 でいる。 でい。 でい。 でい。 でい。 でい。 でい。 でいる。 でい。 でい

明 へ 今 符を 1,20 4,30 7,40 7 ルッの季節 11,40 2,50 6,00 10,20

ブルグ劇塩

月中質績に基いて

合率引下

大きな、 であった、 だがその喧騒も暫らくの事で、 やがこれである▼ガヤくと女たちが入って来た、 若いのや年を取つたの、 理せたのであった、 だがその喧騒も暫らくの事で、 やがて打ち寄せらくの事で、 やがて打ち寄せた 被が引いて行くやうに 東たながらお茶をついでくれた▼ であった、 こっく 美ひながらお茶をついでくれた▼ であった、 こっく 美ひながらお茶をついでくれた▼ 優に火をつけてくれた▼ その子は な子が遊びに来た、 その子は なん

▼前からみたのがその内もうれてやんなさいと言ふ、そこでないがまくなつたから少し買って来た▼女はニューへして東を食つてみる、それから東と言った、女はと言って入る。それから東にも方した情景の中に更けた。女は名を、がからは眼壁が開えて来る、やはり散策省らしいた。女は名を、がからは眼壁が開えて行つた、女は名を、「イエをはさうした情景の中に更けた。と言ってんた。明朝な智と言ってんた。明朝な智と言ってんた。明朝な智と言ってんた。明朝な智と言ってんた。明朝な智と しいな事へられたものだ。それ、 も人の口にのほつたのは僅か 関都に漸く慣れて来た頃姿を 消したが、やがて彼女は哈剛 で、生活の陰はそとにもつき、 まとつて北南の多を告げる寒 風吹きすさぶ去る五日彼女は哈剛 た、生活の陰はそとにもつき、 まとつての哈鵬領フロリダ た、かつての哈鵬河フロリダ が、今は死せし薄幸の女性の のナムバーワン、女王の未路 唯こゝに彼女の自殺を遂げ た、かつての哈鵬河フロリダ のナムバーワン、女王の未路

電「m

起土本

右太衛門 紅線の名作潮の時代劇化! 一々封切









組番華豪の座春長!演實:畵映

料金九十錢 時開映



語」版 畵

展 吉 野

奈石葉伽高伏川高 良原山 松見浪田

中 石關三四

の勝

花河花最岡中玉尾 岡上田川島 喜權菊米和芳愛太章郎子子子江造郎

松竹プロツク總動員の 0 章 健 太 豪華配役 の名演出 て 郞 主

(日曜本)

全支各地最高司令官

生、て居ります。御健祥を新上げます 生、て居ります。御健祥を新上げます 生、て居ります。御健祥を新上げます 生、て居ります。御健祥を新上げます

●訂正

咋朝刊溫古集署名吉田浮は淳に訂正…

全般に耳る軟風、因習を改善し以て官に對する民の招等し以て官に對する民の招待ならびに被別、贈物等の受授を禁止すの受授を禁止する最高に於る。 指二不事項。 指二不事項。 指二不事項。 有人會議に於る。 有人會議。

職における外務局指示

記者團に言

の質問に答べ帝國はこの種の脅迫に對

法嫌派の根絶へ

はない。 はない。 はない。 はない。 はない。 はない。 はない。 はない。 はいであると言ふ事情 はいであると言い。 はいであると。 はいである。 はいであると。 はいであると。 はいである。 はいでな。 はいである。 はいでな。 はいでな。 はいである。 はいでな。 はい

電談政府の方針を明示

環境を改善

「一前八時十五分蓮沼侍従 一前八時十五分蓮沼侍従 のれる大元帥陛下には八 のれる大元帥陛下には八 のれる大元帥陛下には八 のれる大元帥陛下には八

れて統軍臺に帶御、飯田統 を敷く靈峰に映えて御馬上諸將星の率迎を受けさせら られ結ぶ、この日秋光新雪畑陸相、山田教育總監以下 上げ錦族を前線に進めさせ知時相、山田教育總監以下 上げ錦族を前線に進めさせ

所にて簡素な豊食を召させものれ畏れおほくも御野立せられ畏れおほくも御野立

畏 愛馬に され

夏二十刊夕朝紙本

でおさく 「肺患」とつとだららかさ?馮んのは一種どうなではないし、たとへなどではないし、たとへなどではないし、たとへながあつてゐても、そんともがごして書く値らちならか?▲からい

は、
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本
 本

第二日午後

馬政に闘する件、一、現内の治安肅湾に闘する件、一、後募に闘する件、一、物育の取得に闘する件、一

謝近火御見舞

滿洲綿業聯合會

商工公會總會第二日午後は第二職案就制經濟實施に關し政府に要望の件を上程、各代表よりの提案理由説明に對し和

謝近火御見舞

ちれ給ぶ、職機いよいよ熟 し午後一時山地臺の最前級 に陰幸されるや南軍攻撃の に陰幸されるや南軍攻撃の 大萱を切り空軍の参加とと もに随所に猛烈な立體攻防 して後一時山地臺の最前級 では双限鏡を御巡視各御野立 では双限鏡を御手に独し

なること言をまたない、親切心、人間らしい、親切心、人間らしい、人間らしい。人間らしい。

感激の將士、壯烈な攻防戦展開

、その土氣蔵々易り、粉骨殿下を直接事變地に迎へ率感泣するとゝもに参謀總長

省政會議を常設

庶政運用に効果期待





とて民意聴從の用意ある旨を と決定、後日新京商工公會一任 と決定、後日新京商工公會一任 と決定、後日新京商工公會一任 と外定、後日新京商工公會一任 と入なり、續いて第三職案商 工公會强化に關する件を上程 一、関庫補助金層額、一、 省商工公會聯合會の正式承 で、合作社に對するが如き 政府の積極的支持

謝近火御見舞

日本語 ラ

謝近火御見舞 みしまや吳服店

謝近火御見舞

謝近火御見舞 人 **商** を明(3)大神三〇歩ル = / 0 -

新京金融組合

奥茶で食事 歌 版(3)五二五余巻

謝近火御見舞 カフェー興 日本 編 第二四

謝近火御児舞 カフェー

松

謝近火御見舞 和盛德洋酒部

經濟部では九日午前十時から 會職室で第一回家賃税制準備 打合會を開催するが、松席者 は全滅各省公署、市公署など は全滅各省公署、市公署など は全滅各省公署、市公署など は全滅各省が六十名で査定基準、

謝近火御見舞 大谷商事ウェス部

支那派遣軍を御視察

閑院參謀總長宮殿下

さりに防空砲火管な高度を保ち

も英軍艦

で襲撃

北海南部に

第を空襲したドイツ機と 一次を変更した。 一次を変更した。 一次を変更した。 一次を変更した。 一次では、 一のない。 一では、 一のない。 一の。 一のな、 一のな、 一のない。 一のな、 一のない。 一のない。 一。 一のない。 一。 一のない。 一のない。 一のない。 一。 一。 一。 一。 一。 一。 一。 一。

獨空軍現る

に 共同和平提案に對し國務省當 の見解も大陸失敗に終るるを では詳細なる複換である に ベルリン七日漫園通 では 開闢を として批評を 差控へ て ある に ベルリン七日漫園通 で は 詳細なる 複数である もの として批評を 避けて ある もの として批評を 避けて ある もの として批評を 避けて ある がナチンド 職 を な す な と では 詳細なる で まで は ボーランド 職 を な す な らば ボーランド 職 で ある が ナチ で あって 現在で は いって 現在で は いって 現在で は いって は いっと は で は いっと は は いっと は は いっと は は いっと は いっと は いっと は れ いっと は いっと は

十一日歸任

謝近火御見舞 理髪ナショナルが

本郷通り工

新產業開

發計

畫

基礎として ・ 本る時期に ・ 本る。 ・ 本。 ・ 本。 ・ 本。 ・ 本。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 ・ 本 。 本 。 本 。 本 。 本 。 本 。 本 。 本 。 本 。 本 。 本 。 本 。 本 。 本 。 本 。 本 。 本 。 本 。 本 。 本 。 本 。 本 。 本 。 本 。 本 。 本 。 本 。 本 。 本 。 本 。 本 。 本 。 本 。 本 。

原管してゐるので重樹立が當然必要

日滿支協議

們勢變化

10

即

今夏の日端共同資漁調査の結果日本側當局の對滿認識が該果日本側當局の對滿認識が該土せると壓力擴充計畫を描 力とせる生産力擴充計畫を描 力性心との機運が濃化せるを 受力推計量として康偉六年度

社

に省二於長二

議 3

長

官

1111

ij 會

重慶 か 5

重慶政府が艦よ困窮した立 場に陥り、何とか延命の道を 場に陥り、何とか延命の道を はれとして雲南への進出を策 してゐることが認められるの である。そのために多年の間 である。そのために多年の間

のである。省の主盟たる龍雲 のである。省の主盟たる龍雲 のである。省の主盟たる龍雲 度を施行して上年男子たる関
でを施行して上年男子を を施行して上年男子を を施行して上年男子を での一点を ででは、これのでは、 ででは、これがは、 ででは、これがは、 ででは、これがは、 ででは、これがは、 ででは、これがは、 ででは、 医療情勢の下に在りて 防態勢の強化は現下の緊 緊迫

産業を開發し、經濟統制の强い。産業開發及し

現下の物資不足及物價品騰所に、現下に於ける我が國所に、現下に於ける我が國所に、現下に於ける我が國所に、現下に於ける我が國際。 電面差當り

開拓國策の確立 完全なる遂行に

は上の如く現下のわが画は図が、たいの変化、産業経済の振興のでは、 を変更のでは、 を変更なる努力を傾けついるる を変更なに、 を変更ない。 を変更ない。 を変更なが、 を変を、 を変を、 を変を、 を変をを、 を変をを変を、 を変を、 を変を、 を変を、 を変をを、 を変をを、 を変を、 を変を、 を変更 民生の安定振興

文教の振興

化學文語 (本学、) (本学、)

京、 (本) は (本) は (本) は (本) が (

以上の諸國策を地方の實情に対象が成立、以上の諸國策を地方の實情に対象が表示。以て政治の風滑に大衆の理解協力を求め、以て政治の風滑に対して徹底せる

はんことを望む ない、以て全面的に文教の握作に連 特内の實情に適應する方針なるを以て、各 が、以て全面的に文教の握作に適 関で、大いに地方文教の握作に適 では、大いに地方文教の握作に適 では、大いに地方文教の握作に適 では、大いに地方文教の解析に適 では、以て、各 では、大いに地方文教の解析に適 のでは、 ののでは、 地方行政の振張

中央にはいて、安建ないではないで、 はいて、安建ないで、 なるで、安建ないで、 なるで、 、 なるで、 なるで、

慢なれ たえず慢性的に胃腸が悪く、悪味して消滅するばかりか、胃腸の緩を に消滅するばかりか、胃腸の緩を に消滅さなり、今までにない疾性 カタルとタダレを治療し、さらに 受害作用によつて、胃腸粘膜脳の 陽を回復させるからです。 胃腸内部を液揺して、本格的に胃 評判の新青腸薬 = 世 ちゃう びやう

古のは・一四五〇 and the second

民政府の地方政権化といふ事であらうか。第一にそれは國であらうか。第一にそれは國 来な、き、関民黨の首脳部と雖も 振りも祭せられるのである。 して昆明乗り込みを策するに をのものよ弱鏡化を余りにも 至つたといふのは、重慶政府 であると 明白に暴露したものであると 明白に暴露したものであると 近代史に明白な事質なのであるの政治的覇権を掌握して來たいである。これは支那に就令しそれはである。 家賃、住宅建築に 各特別法を制定 物價統制實施策決

と認めたる民間有力者を以と認めたる民間有力者を以て構成するものとす。 賃貸借紛争の解決方法、賃貸借紛争の解決方法、賃貸借紛争の解決方法、賃貸借紛争に於ける不解せしめ要すれば調停法制等としめ要すれば調停法

ナ要別市、本等は、 のとするもの本統 では、 では、 では、 では、 では、 では、 ののとする。 では、 ののとする。 では、 ののとする。 ののとする。 ののとする。 ののとする。 ののとする。 ののとする。 のののとする。 のののとする。 のののののでは、 ののののでは、 のののでは、 のののでは、 のののでは、 のののでは、 ののでは、 のでは、 のでは、

おり實施するものとおり質施するものと

に考慮する に考慮する に考慮する に考慮する に考慮する に考慮する に考慮する に考慮する

き材應建

税制より之を除外す 歴住宅及各會社々宅 府代用官舎、市營住

二、房産住宅以外の住宅の建 を調するため適當なる方法 を講する を講する を講する

二、新京特別市および奉天市における特殊會社の専用住宅建築豫定地は必要に應じ 房産會社において買收又は 房産會社において買收又は 方方と利用地で表示に

反英運動を開始

お與へ下さい

0

講談社の繪本」を

尊い五十銭の投資!

攀美松

愛見の

爲。

. 0

るの建・建多築・

建築原價計算を行ふも参考にする爲別途選正案の原價計算 家賃査

可を受けしむるものでするものに對し當時は速に特殊會社並

宅對

要領

家賃 統制の 要綱

地圖を見れば明らいいのはその對外側

変の要綱は別項の如くである を示すものとして頗る注目される、この中生活必需品の統制要綱は昨日朝刊に既報の通りであるが、家賃及び住宅建

を主要を表示。 を主要を表示については別に住宅建築臨時措置法(假得)に 基言数重なる國家的統制を行 ふ方針であるが、差當り住宅 を書記を中心とする積極的場 を書記を中心とする積極的場

壽縣戰

に

民衆協力

△統制の方法 建築要素の經濟的利用を圖るため住宅は一元的に房産會社をして建築せしめる房産住宅とその他のものとに區分する一、房産住宅(1)政府代用官舎、新京特別市および奉天市における特殊會社(之に準するものを含む以下同じ)の専用住宅は原則として一元的に房産會社をしてで一元的に房産會社をしてで一元的に房産會社をしてで一元的に房産會社をしている。

配分については別にる(3)房屋住宅設めにおいては地方の意見でした。

するものとす。 に宅組合の結成、 性宅組合の結成、 性宅組合の結成、 性宅組合の結成、 であるものについて であるものについて であるものについて であるものについて であるものについて であるものについて であるものについて であるものについて であるものについて

結果新産業計畫

分應を公本家る各

八、家實金定委員會の構成(一)各委員會を當該地域に於ける市員會は當該地域に於ける市際、族長(必要に應じ街、縣、族長(必要に應じ街、縣、族長(必要に應じ街、縣、族長(必要に應じ街、市長)を委員會とし、稅捐

運河の治安維持は全くなつた 連出で我軍と協力壽縣一帶の 工作職は大成功裡に終了し大 工作職は大成功裡に終了し大 海鷲中南支猛爆

でられるが歐洲の動 でられるが歐洲の動 でいたて決定を見る

重慶

成の報ずるところにと 宋子文 によればア

六万四千

十二側五十六錢

振興洋行證券部新宗支店

(株大使等重慶へ 「香港七日發園通」 軍慶 しまなり、まため、大使な大変大使アラシス大 一方とで、成都滞在してるたか、また最 を演官で北京に滞在してるたか。また最 を演官で北京に滞在してるたか。また最 を演官で北京に滞在してるたか。また最 を表してあため、また最 を表してあたか。また最 を表してあたか。また最 を表してあたか。また最 五萬七千八百二十四側五十三銭(腰東軍司合総)と十四川三十五銭軍府家帝尉川金(同)と百間也(親防館基金()

國防皇軍慰恤献金品「蘇鐵」

表以

内要が大五 主豆精同鐘流新大五 主豆精同鐘流新大五 本末新鐵新紡業東新品 本末新鐵新紡業東新品 本末新鐵新紡業東新品 本末株式(短期) 春日100 本末株式(短期) 春日100 本末株式(短期) 本末株式(短期) 本末株式(短期) 本末株式(短期) IL HALL HATE.



敵兵の背後を衝く 商况 後八

各地株式市况

漫畫と動物美談 補木正行 ●賦お家の 各一冊五十銭(全圃書店にあり)

首。

今月は左の三層酸費!

もそのま」これを構成するも のであるが全面的物資需要激 化の際における大口消費者か る補拓の該計畫は各方面から

智の啓浚並びに國民文化の振 無は道楽國家の建設上或ひは 無は道楽國家の建設上或ひは が、 一段と要望されつ」あるに鑑

あられ大體部長には安江理事 ることになつた 関る期待されてゐる、尚需品 指導機關の一つとして今回滿 部昇格に伴ふ人選については、州國國書館協會を設立するこ とになり近く設會式を暴行す あられ大體部長には安江理事 ることになつた

旅客輸送訓練旬間

但案品中央展

るとゝもに併せて業務の連絡、運営に従事す 進鐵路の建設、運営に従事す

ふ開合

農産物増産計畫の積極的修正 農工併進策愈よ具體化

果密なる連繋を保ち、これが 考慮し、今を当行して實施されるもので むる大豆にと並行して實施されるもので むる大豆にとした。 これは勿論工義 に主限をおる大豆にがある。 考慮し、今回の食糧會議の結 むる大豆に對しては對歐策を いる大豆に對しては對歐策を に主眼をおいてをり、殊に現

内鮮、大陸間に

貨物專用機就航

明春早々實施と內定

はその第一機が颯爽と出現旅 とになつてゐる 似気單葉とする設計も完成作 客十四名を乘せて三百五十年

り勝ちであつた増産計

これ迄消極 通その能表類在中)を何者か 公使官邸で開くことになつた一大轉換と 十枚、第一生命三千圓、安田 日を第一回とし毎月第三木曜一大轉換と 十枚、第一生命三千圓、安田 日を第一回とし毎月第三木曜一大轉換と 物積込中、一寸した隙に小型 他一般銀行、會社の幹部を含を第一目標 物積込中、一寸した隙に小型

らきといふのである はこれが はこれが はこれが はこれが はこれが はこれが はこれが はこれが はいる。 はい。 はいる。 はいる。

風け出た

なった。

三就ラハ左記要領ニリニー九一號ヲ以テ公体を対している。

ニ此ラ又佈

低り収扱可致詳細い最実の とが とが 賣却希望者の該地の とが 賣却希望者の該地の とが 再 別 の を と の で は か に の で は か に の で は か に の で が に 要 権 穀 統 制 に

地可法

於包依

ケ米リル及康

張祉二

致詳細八最寄當社支店出張所 二御照會相

ラレ其ノ業務ノ リテ公定地ニム リテンテ公定地ニム

至ル迄い

接引

专行

取扱業者

籌備委員會設置 義勇隊訓練本部淵識進む

福威者を網維してゐる、委員には稻垣拓植委員會事務局長、大使館教務部等の開拓。總局、大使館教務部等の開拓

段階の遂行に

開拓團物資の配分適正 れ轉任するものと見られるには企畫課村山参事がそれには企畫課村山参事がそれ 花井斡旋課長、倉庫課長には 庶務課長、第二購買課長には 物資課長

大整備案たる師道學校體系の部教育司で計畫中であつた二部教育司で計畫中であつた二 校の整備擴充は初等教育の積國民教育の副新に伴ふ師道學

さ編審科 禁煙總局

中である、現在同意でも) を載せ時速三百廿キロを出す を載せ時速三百廿キロを出す を載せ時速三百廿キロを出す を動う號で同機は一トンの貨物 十二月一日より實施される小して 姿粉事質制に開聯して全浦州 毛地 後の小姿粉組合の處置如何が と計画を出す。 を動き変形であるが去る六日同型 姿粉事質制に開聯して全浦州 毛地 を小変粉小変組合に改組せし 時

院小見科治療室に入つてゐる時から同三十分までの間に同時から同三十分までの間に同時から同三十分までの間に同

陣を擴光内鮮、大陸との間に肌航させてゐるが更に専用機幅岡間に隔日に貨物専用機が

小麥粉専賣制實施で

ち開拓事業の直接育成を掌るか、これ等各機構改革に先立

小賣組合設置

現在の配給組合改組

連線京

報名金〇フニ及

政府當面の重要國策たる綜合一改正、師道訓練所の擴充が明

が國都上空に現場が國都上空に現場 か滿洲事變直

圖書館協會

市民からでなった

無関策完遂の見地から同片直 を本新年度早々から實施され を本新年度早々から實施され がその第一陣として同片断 る本部が設置せられる夫々當該關係圏内を對 **初京に置き本部長には** 八の就任が決定的とな 本部を設置 選定等について 滿支經濟聽談會

る例に倣ひ滿洲本部品成には日商を母い 日滿實業協會滿洲 婚すること」ない。
「は直ちに日本

10

9 8

回教徒代表赴

愈よ近く發育

國民教育の指導機關

数の鳥を見たことをやっ れまで長春の街ではたれまで長春の街ではた とりどりの噂に話題 になると鳥が訪れヤマ になると鳥が訪れヤマ になると鳥が訪れヤマ になると鳥が訪れヤマ になると鳥が訪れヤマ

日から満鐵で實施

を手を纏いてゐる をあらう▼夜来 のであらう▼夜来 のであるが道行く りであるが道行く りであるが道行く

梅

池爾

推測

白

阿

粮

海四齊性社 延 安 本 大哈新 拉平 4 本升 江 支 店 出 數數 店 店 支店 近ク 精白栗ノ取扱要領ニツイラハ之ヲ省略ス尚公定價格設定地ニハ全部滿系駐在員ヲ派継派、無源、ニ者湾、農安、光臺、王常庸、大青城、関連、東海、ニカ湾、農安、光臺、王常庸、大青城、関連、東海の公上ノ個所の駐在員事務所ヲ設置スル豫 出張所 在 駐在員 地 事 が豫定ナ 地

帝二保管料ヲ加算シ現構セシム(購入ノ来者ノ口座ニ振替ノノ座ニ振替ノノルの、「以入ノ シ格ノノ タノ約方價 ル八定法格 シ格ノノ 梅 毒 5 體 て評判 毒 0

ります。 から 云ふ脚(の) ります。 から云ふ脚(の) 脚(であり 脚) であり 脚(であり 脚)

問題、 瓦 **鮮**律刑 小港

精白高粱、

派差

スル豫定ナリ

東墨、

西安、

康德六年

穀株式會社

給本が出來ました な 父さま 道講談具談 の繪木 お母さ 「好戦お家の

分類集別し、道具の正しい名、形状で個。 この繋がは、何臓の家庭にもあるお浜具この繋がは、何臓の家庭にもあるお浜具 色彩、使用弦響を正しく数へ、併せて がそれ です。

の修本による要性生活の信濃を描き、絵式 信機別量物として「最と子の根景型」と の修本による要き方「形の質」も掲載。

講談社の繪本 三新發賣

誠はお家の正 正

申出ニ對シテハ組合又ハ大口取

能ナル場合ト

シ難又モ

ハ都之合

9苞米及高梁ノ購入ヲ爲ル場合ニ於テ前記申出アレ度キコト

一付國際ニ重見一定ノ保管料

最ラー検支日

香ラ満鐵二人排フル里

可及的苞米ヲ

海港

ニ搬出ノ

淋 一般慢 疾 性病專門 H 治療法によられ 治療は責任あ根る 線療法の説明醫進品

、二付ラハ一應其ノ申出タル 放業者ト協議決定シタル價 付前記檢查ニョル外、品質、

樂生堂日S線新京療院

四筋之月又ガ

一ハ購

月麻ム

末後事日入ア

股家 修七三二十 唯 五十五日 十五日日分 外 排料 用 用 分分分

四十五一级

【1ト薬品部にあり】

東京市日

今は昔程の厳格な古式には則らないとく翻倉時代に淵源してゐるといはれる 成長を祝 て五三の神詣 天々しく 労命るやうとはいへ、子供はつとはいへ、子供はつ à

い蒸じ々オルでサット、 ・ 類と襟によくぬつたら、 ・ を と と が に け 除 け に が と 微 に よく ぬ つ た ら 、 手にもうすく刷毛で白粉をつけ、爪にはエナメルか紅をさします、子供の化粧の秘訣として目の周りに大人が墨を使ふ代りに、紅をさし、目尻に一寸紅を引きますと、パッチーが振りに、紅をさし、目尻に ラ 立てるのは感心 L 0 いが美しいのですか な巧をこらして飾り な巧をこらして飾り なの字し稀じゃらし 大の字し稀じゃらし

ぬこと、逆さまつ

(球をいためない様にするの) と、 遊さまつげのためにこと、 遊さまつげのために

お母樣の着付

亦 出來ま いきたい。 こ近視 原因 明眸美

日九月一十(年四十和昭) 年 六

生の六十二パーセントこれに 単の六十二パーセントこれに 別観ですが、これは現在では 學 に これに 遺傳に 深い て目玉が前後に長く、生れ作りない。 たて今日ではまへに申し上げた、明治の年頃から大第にふ ます、これは全く遺傳ですか形の目玉をしてゐる子供がゐ が徳川時代には殆どなかつたが徳川時代には殆どなかつた。、豫防をすることは出來までのです、これでのに強になるのです、これでは親になるのです。これが、一學校、大學に到るにしたがいる。 所謂卵 疲れさせないことが大切です を表れた場合には一パーセント の鹽を含んだ蒸溜水を温めま して消毒綿に含ませて約十分 間ぐらぬも、おさへておきま すとよろしいので、また朝晩 洗眼すること、外出後にも、 つとめて、洗眼を見ますこと は、美しい眼を保つのに大切 れてゐますが、何よりも限を れてゐますが、何よりも限を れてゐますが、何よりも限を れてゐますが、何よりも限を れてゐますが、何よりも限を れてゐますが、何よりも限を とで。形の整つた眉毛の下に たせてみる上にぜひ大切なこ にせてみる上にぜひ大切なこ 保つに 11

ら、強防をす

を持つて頂きたいと思ひますを持つて頂きたいと思ひますとして、標には水 白粉を必ずおつけになるやらに、不断標をかまはない方に十五日迄に間に合はす應急の 處置を軽る前につけるを續ける

廢物更

生

衣類はこんな

利用法がある

殊に鳥肌の方には後の方法を 後化粧水白粉をつけるかすれば、ほゞ自的は達せられます が、でなければコールドクリ

古い衣類の利用といつてももはや染かへて利用することが出来なくなつたものや、再生困難のものなどかありますが、こんなのは次のやらにすれば生して使ふことが出来ます。

(二) 木綿(き三つ組に) 単に丸くつか 単に丸くつか し、難巾をこ

をこしらへましてもどの下敷になります

まだよくわかつてゐないのは、 残念です、風邪を引くのは、 身體の抵抗力が弱つてゐる際 であつて、決して寒さや、微 簡だけが原因になるのではあ りません、この點まづ心得で かふるのが大切で、でないと

本綿物でしたら細く裂

フ、ハイキング 一時間以上の勉

マスク

0

微菌除け

のみでない

黴菌

なまゝつぎ合い れば次類を包っ

らんで筆笥に入れ

ます、それでその豫防法とし非常な豫増ぶりを示しており非常な豫増ぶりを示しており

って

おきた

・ 元來三つ、五つ、 元本三つ、五つ、

お子さんの化粧はどうてお子さんのお化粧はどうればよいかと云ひますと、れずカつくりは、大人じみてお方つくりは、大人じみてお方つくりは、大人じみてお方つくりは、大人じみて

アポロの部分は漆器類をつついスペリのよいものが出来まいスペリのよいものが出来ま

バーなどに利用出来まするをとつてはぎ合せて座をつくるとか、或は子供をつくるとか、或は子供をつくるとか。

ロの部分は漆器類をつつて、これをはぎ含せてのはしつかりした部分だっために真綿入りの胴着のために真綿入りの胴着が出来また。 ひけん といものが出来また。 これをはぎ合せてのために真綿入りの胴着のおりに これをはぎ合せて

900

(四) ボケット (四) ボケット (五) 活字を観楽する事 (五) 活字を制 (六) 紙質を連 (六) 紙質を連 (六) 栄養をと

をはやめる事でもにする事でもにする事をが良して文字をはやめる事

意する事

はのか、ど

がさつばりらかった。

らマスク に関む、マ に関ひこと

い船らしく縄で

ない、またマスクをかけるにのか、またマスクをかけるに

お子さ

|本武蔵(吉川英治・ 際情勞」外務省情

『二、大利根月夜』 二、大利根月夜の一、土と兵隊(東

秋の調べ、ニ、酒は、間奏曲に、間奏曲に、間奏曲に、

[M· Y· C· Y] 新京放送局] 九日【木曜日】 五四 氣號 四回 氣號 四回 氣號 四回 氣號 四回 氣號 四回 回頭

經濟市況

ことごとくトラホーム患者である例もあります、これは不潔が原因になつて接觸停発ですから、患者が發生したらこれを隔離する方法が一番有効でせり、さらしないと無限に

ふ 番組

オナフ

のは夢して効なしです、子供 感じないやう、帶にしめられ 感じないやう、帶にしめられ が、しかも着くづれないやう

来に 思想の競達してゐない地方に が、これは衛生

のは勢して効なしです、子供網工し過ぎて脊中に口が開く

でびつたりと付くやう、余り物はあつさりと着て帮は脊中

以上のこ

発展する事

長くて上向にそ **子座を占めてゐるとい** あります

等のために特別な油も 加をつけるとよろしい のとのには、純良な

クで感冒の原因をなす。 一覧を引きれて、 一覧を表す。 一覧を表す。 また黴菌の浸入を防ぐこ カ 本物の風邪を引またその治りかけな 成歩するのにまでマスへがキレイな空氣の中 の抵抗力を弱めて、 を必要とします えぬホコリ で、元來マ (新京) 関民の時間 (新京) 関民の時間 (中新で) エンドリ (中がで) エンドリ (中がで) エンドリ (中がで) エンドリ 、その結果リ やうにし、咽喉を とにあるのです 良質のガー みに出るのでなか を濾過するに んの微菌のつ また他人へら を直接吸 D. 複合性を連上することでなければならないのですに用ひられました。然し真の跡策は……不足に用ひられました。然し真の跡策は……不足に用ひられました。然し真の跡策は……不足 不足から來る弛緩現象です。 消化不良とか、 飯食に原因する元素、米や変にも天然 …に惱む人が日本には非常に多 動も続つて便秘或は下痢に傾くのです。腸の蛭の消化機能を強め、アトニーを惹起します。腸の蛭 くの日常食物にはB成分が強んど皆無となるのですしたり浙いだりして、故意にBを除去する結果、われが含まれて居るのです。ところが實際にはそれを精白 エピオス錠がこの目的に貢獻するわけです。一天然物中で最高のB給源と言はれる酵母劑 胃下垂、胃擴張、 何れもビタミンB複合體の に抱着する純國能群母別です。 他介替をあらゆる天然物中で最も盟富 地介替をあらゆる天然物中で最も盟富 を対する純國能群の地震に有 のはおいて、 のはままりB 便秘や加答見な にはピタミンB複合體

ておの味 付し出赤んでお食定

田 邊 五 兵 衛 裔 大日本 麥 酒 株 式 会

*

錦ヶ丘高女旅行

母心

河公司

て左の丘に鎌道建設の犠牲となられた方々の記念碑がみえた、暫し感謝の歌諄を捧げる窓外の景門もよく老頭湾で十窓外の景門もよく老頭湾で十窓外の景門もよく老頭湾で十つた。

はなった、この邊の本はこれまでと異り相當火も高くなってゐて青々と茂つてゐた。 一時が南の郊外に向つて盛た。 一時が南の郊外に向つて盛に伸びてゐる。 建設を立つたのだ。 でゐる。 建設を立つたのだ。 でゐる。 建設を立つたのだ。 でゐる。 建設を上の推然とした姿が車窓から見られる、 を要い動揺を見せてゐる。 を要い動揺を見せてゐる。 を要い動揺を見せてゐる。 を要い動揺を見せてゐる。 を要い動揺を見せてゐる。 を要い動揺を見せてゐる。 を要い動揺を見せてゐる。 を要い動揺を見られる、 を要い動揺を見せてゐる。 と言となら

船はわを々か達人色ら

大学にひどく揺れ出したので 次第にひどく揺れ出したので でみんな套巻に着替へて二十だでみんな套巻に着替へて二十だでみんな套巻に着替へて二十だのに感心する、「私は歌目に きまつてるのよ」等と云つて か 何枚もの新聞紙を抱へこんで か 何枚もの新聞紙を抱へこんで か 何枚もの新聞紙を抱へこんで か がしみんなの楽しさらな話し かしみんなの楽しさらな話し かしみんなの楽しさらな話し かしみんなの楽しさらな話し かはつてある、通行の邪魔に かはつてある、通行の邪魔に

四 千

中月二十一日午後十時五 分新京發、京岡並北鮮沿 特四十八分清津斎、同四 時四十八分清津斎、同四

百餘名の様々な喜びを載せ た汽車はうすら寒い新京の灯や後に京岡線を東へくと進立、 強く様な離もすらつと消 変えると替ほつと胸をなでて、 電筋のらじくしくとしみ出して くる様な複雑な涙をぐつと音 変くる様な複雑な涙をぐつとしみ出してこ

どころに見えてゐた、それ等いくつもに切れて口がところ



割冠桂

胃酸過少

たり…そして牌をかきまなり、時に話し塵がするとなったり罵つたり、怒つたり、怒つたり、をたといたり、冷笑

前に立つてゐる、觀衆に背を向け、カーテンをあけようとして向ふを見てゐる、彼女は黑い絹の上衣を潰てゐる、彼女は黑い絹の上衣を潰てゐる、獨関に小さな黑點のある。 異関に小さな黒點のある。 異関に小さな黒點のある。 と 外黒づくめである。 原野」批判座談會 ① 人作家に

朝設) ませないか。

北村君の批評を讀ん

何を求めるか

今村 何カヌー! 見はありませんか。 今村 皆讀めなかつたと云ふ ことは殘念なことだつたぬ。 本屋に來たのが賢切れて文 話留では二部しか買へなか

はいる。 はい。 はいる。 はい。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。

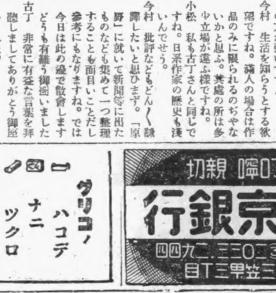
英二曲

222





山田 「文學者」に今度行つて記ようと思ふ。大内 「文學界」には小林さんにも言つて置いたんでするに努力して出して居るつも



室内にはカテーンが深く垂れてゐる、强烈な燈光下には濃く煙草の煙、悪劣な香水の臭ひがたちこめてゐる、強理石の受卓も濡れてゐる、全理石の受卓も濡れてゐる、大中間に、一つの小ソーファ中間に、一つの小ソーファ中間に、一つの小ソーファ中間に、一つのかソーファルが浸く垂れてゐる。

も受けたかのやうに)おゝ

なると、オウ、ノウ、君の あると、オウ、ノウ、君の あると、オウ、ノウ、君の たい身體から愛する香りだ、それから僕は最初パリーにゐた頃を思ひ出すんだ (フラーと他つたり、あの夜のパリ! (又も 1 あの夜のパリ! (又も 1 かのを出し) ちらん! といふのを出し) ちらん!

山田 「文學界」とか「文學」 者」とかぶよいですよ。「文學」なんかと云ふとヂャナリスティックな見地以外に編輯の方針がないからねに編輯の方で、満洲で出版してやつて行きたいと思ふんですね。

!僕の露齧。 (上を見下を見、手脚を動かし詩でも吟リック!) 一層調子に乗りリック!) 一層調子に乗りリック!) 一層調子に乗り

四四九二.三三〇二多話電。

書くものを讀みたがつて居 するだらうと思ひますがね 在滿の日系作家は貴方達の 在滿の日系作家は貴方達の 市場內支店

一篇宛端人作家の短篇を敬せると良いですがね。 せると良いですがね。 を云つて居つたが……向 なに充力を動迎す

高 (彼女の傍に行き)僕は れ、君が本當に綺麗だと言 つてるのさ、君は今夜は本 當に綺麗だよ!(首を振り 尻を振り、眼を閉ぢて)綺 麗だ!本當に綺麗だ!君は 本當に服の着方がらまい、 そんな 憂欝げで、 魅惑的 だ!それに香水の使ひ方が だ!それに香水の使ひ方が た!それに香水の使ひ方が

製洋和 春 長峰

るる、

ですよ。

健康强化の國策に順應する為に

品のみに限られるのちやないかと思ふ。美處の所は多り立場が違ふ様ですね。小松 私も古丁さんと同じですね。日系作家の歴史も浸いんでせう。 りますよ。 古丁 従來餘りに知られなか つたね。日本人作家が…… 山田 やはり日系の人が補系 の生活を知らうと云ふ氣持 の方が强いですよ。 今村 生活を知らうとする欲 忍ですね。満人の場合は作

第四章 第三幕と同じ晩。 第三幕と同じ晩。 第三幕と同じ晩。

(自負し) 僕が呼んで来る は。(61人) 僕が呼んで来る は。(61人) 僕が呼んで来る は。(61人) と く凝つた洋服を着てゐる、ひど く凝つた洋服を着てゐる、ひど がボネタタイがみだれ、テ だがネタタイがみだれ、テ だがネクタイがみだれ、テ での概を持ち片手にコップを の概を持ち片手にコップを のである甚だ愉快げに白

・さりしてゐて、好い氣持だー(生き生きと芝居をする、感動し潤息を吐き)あく!僕はこの香水をかいであると、オウ、ノウ、君のもると、オウ、ノウ、君のと、、オウ、ノウ、君の

るからいけな

傑作歌ノ 筑王 ATM

(五)

この道まつた心をいつまでも抜けたいと思つた感能はたったんをいつまで、そった一つの希望を立てた。それはロマンの学を逍遥する夢

どうしたらよいだらう、と

度告の御川は

引きかへすことが、己れのウ

つた。それほど心をふくよか きもちをうごかすことがなか

うかとも騒念されるのであつ

とについて、べつにふしんな

生きるだけが生活ぢゃない 生きるだけが生活ぢゃない

ある、なにがと言つて、穏を ある、なにがと言つて、穏を

おりのうかどうかといふこ

晚秋浪曼

の夢 選貫! 選選! (後間表が見えて来る、手をに組んで中の人とこ

今村 これから満人作家に對する註文と云つたものを色くとありませらから一應言

示·率天·上海·天津·漢百·馬岡



大に意を残う致しました。

御學授を実ひ奉ります。

握る前に口中を清掃せななならぬ が、幸に今回蘇社提階の運動に ば之が徹底せざる向もありました でありますのに、從來やゝもすれ と云ふ事は、餘りにも明白な事質 御協力給はりまして、歴民保健上 出來るから

ひざいます。

者翁然として集まり、弊社は其反響の 江湖各位の絶大なる御共鳴を得、御協力 世大なるに咳激情く能はかるな気で ライオン回路で筋を磨きませうと、 ラチオの時報を合圖に、寝る前にも 飲味時化の國策に膨應する爲め、憂に大時局に鑑み、弊社に於さましては 千萬人の御協力を懇願致しました處、

今や全日本を風靡する

領人の一当の言語が流



よく食べる 養の不足から衰弱の度を早め、 を及ぼすもので、もし患者が食慾不振で を悪化させます。 三度三度の食事が充分得られないと、、榮 れてゐるのは複合ヘーフェ菌劑若素(わ かもと)の服用であります。この樂は從來 用ひられてゐた苦味劑、 すので、 毒素の害を排除すると同時に、獨得の細 のと根本的に異り、結核菌の勢力を挫き、 一時的な刺戟や軍なる補助作用によるも 胞原形質賦活作用によつて胃腸の病態細 胞に活力を與へ、消化吸收を活潑にしま 結核患者では食慾の有無が重大な影響 な食慾が湧き起つてきます。 食慾の増進法として、 病人は助 衰弱體は根本から立直り、 現在最も推奬さ 消化劑の如く、 かる 益々病勢

食然素へ 1フェの食慾催進作用の温本剤の主成へーフェの食慾催進作用の温本剤の主成へーフェの食慾催進作用の温となことは、本剤の優秀性を物語る一端となっとは、本剤の優秀性を物語る一端となりませう。



患者の大敵

れるのも、 その害を輕減する意味からですが若素 耗を補ひ、毒素の害を除くと共に、更に結 良な蛋白質が含有されてゐて、榮養の消 わかもと)中には、豊富なビタミン国や優 核治療の要認 作用あるグルタチオンその他種々の成分 核菌の被膜を溶解するリバーゼや、解毒 が含まれてゐて、結核の本據を衝き、菌の 勢力を弱めますので、最も自然に、 ことが出来ます。また木劑を解熱劑と併 根本から解熱、盗汗消退の目的を達する 用すれば、解熱劑の副作用を消し、効果を 一層場めることは申すまでもありません 出來るだけ代謝作用の昻進と **榮養が叫ば** 療養上安靜

治言"

中間が痩せるといふのは、食べたものよりも體内で消費される方が多いからであります。即ち結核患者の體内では、菌毒素の刺戟す。即ち結核患者の體内では、菌毒素の刺戟す。のたり痰が多かつたり又喀呱などあれば危る結果、身體が衰弱してくるので、殊に熱がる結果、身體が衰弱してくるので、殊に熱がる結果、身體が衰弱してくるので、殊に熱がる結果、身體が衰弱してくるので、殊に熱がる結果、身體が衰弱してくるので、殊に熱がる結果、身體が衰弱してくるので、殊に熱があったり火喀呱などあれば危

東です。 ・一般として蛋白質ですが、これは進行性重症患者では ・進行すれば消費量も増してきます。 が進行すれば消費量も増してきます。 が進行すれば消費量も増してきます。 ・の一五〇%も昂進することがあります。その ・の一五〇%も昂進することがあります。その ・の一五〇%も昂進することがあります。その ・の一五〇%も昂進することがあります。その

他の衰弱を防ぐには普通人以上に多くの栄養 が必要ですが若素(わかもと)は、胃腸を強が必要ですが若素(わかもと)は、胃腸を強む必要ですが若素(わかもと)は、胃腸を強能と相俟つて栄養は益々充實し、血色良く、化るのであつて、結核の恢復は期して待つべれるのであつて、結核の恢復は期して待つべれるのであつて、結核の恢復は期して待つべれるのであつて、結核の恢復は期して待つべれるのであつて、結核の恢復は期して待つべれるのであつて、結核の恢復は期して待つべれるのであつて、結核の恢復は期して待つべれるのであつて、結核の恢復は期して待つべきものがあります。





牧(横山少将までまた。) ・多談所、協和會 ・多談所、協和會 ・多談所、協和會 ・多談所、協和會 ・多談所、協和會 ・ の尾 ・ の尾

を捧げる姿は参列者を始やしく行はれたりの他各国體代表等的を指しく行はれたが憲主となり能の御神を始めている。近年の他の一般を開きている。近年の一般を開きため、近年の一般を開きため、近年の一般を対している。

心上

業部及び各 が之が配給 がとが配給

を共に配給の別滑を別するこ となし全浦に小賣業者組合を お成せしめて不良品を取締る

離にのつ言う

東宮市 一年……来る上帝館の第二十六人日本子

後人時二十分新京康寺でんの三人が放大佐の二人が放大佐の二人が放大佐の一人が放大佐の

小賣業者に許

可

靴

統

サ製りれれあてて達美言こ達のい現今通なを府のとて構

五頭の損

久しらしてゐた▼ひかり食堂 事のサービス巖は釜山から乗 ある宮本氏もいゝ氣なものだ ある宮本氏もいゝ氣なものだ ある宮本氏もいゝ氣なものだ

催NO11

の位類切だとねーと感嘆これ前鎖食堂車のサービス接もこ

思出の大陸

東宮大佐未亡人

□ 新佐山 飲食我の であるものではありませんとするものではありません 関東 ではその施行に對し致て反 てはその施行に對し致て反 であることに於 に基くものであることに於 にまくものであることに於 にまくものであることに於 はその施行に對し致て反對せんとするも

のは内地、関東州よりも高い、税率の點にあるのであります、然るに高率の税をとりそれがため営業が立ち行ると言ふが如き言は我々にとつて聞き棄てならぬものであります、むしろ政府當局は関民精神の緊張を促すことを口實として我々業者の自滅を闘らうとする意画のもるものと受取れるのであるものと受取れるのであるものと受取れるので

司長の新税創設

全人

死活問題

亡母追善に

國防献金

とらうと言いるのある

透枝始め女給ダンサーの生活問題の如きは問題でない だしろ女性の足らない満洲 にあつてはこれ等女性が慶 で、また人妻なり女中等に なることにより大切な人的 なることにより大切な人的 なることにより大切な人的 なることにより大切な人的 なることにより大切な人的 なることによりない 変源となる、而して営業が なることも大

者にして 賞にある人

とも大いに結婚

ると、何よりも強く梁者の耳 が奈邊にあるを知るものであ が奈邊にあるを知るものであ

市内吉野町二ノ一三吉本方浦 有気がへし等を行ふ筈のとこれたが、 八十九歳の高齢で逝いたが、 八十九歳の高齢で逝いたが、

精動を口實に

滅を圖

3

B

意見であ

て欲

るいに実践の らびに実践の とがに実践の といいでは、 といいで

萬時店主川上謹一さんは組 當時店主川上謹一さんは組 當時店主川上謹一さんは組 當時店主川上謹一さんは組 留内の三君が不用意にも飼った の三君が不用意にも飼った の三君が不用意にも飼った の三君が不用意にも飼った の三君が不用意にも飼った の三君が不用意にも飼った の三君が不用意にも飼った ので、 その謄林君は左手に全治三 週間の火傷を負つた をまり穴の廻りが早かつた」 をまり穴の廻りが早かつた」 をあまりたのに り、第一位のでで、 をまりたの廻りが早かつた」

ヒーを一杯呑んだあとで果物をと注文したものだマナるとをと注文したものだマナるとでス値『まことに申わけありだけになつて居ります。ほんとうに恐縮でございます』とその言葉から物腰さもお氣の養だといふ態度にすつかり嬉だといふ態度にすつかり嬉

森然たる。 連二六川

一盃)さん方店から一誠昌堂薬房こと川

川上薬房他二件焼く

受油の爆發 北寄

数を伴つて猛烈を極いの強風に煽られ揮

5 パフト商會は、 三階共中観して同七時五十分鎭火した、所 10つき取調べたところ 富時古主川につきを大原因

理係主任コー 支社の宮本経

謝近火御見舞

細亞

會

東京 二 3 3 條 五三通

七五り

一个館

よつこり現は

ひかり

カフェー

銀座會

宣生・野三ノー

と した即ち した即ち した即ち

反對は益す熾烈に紛糾化せんとする傾向を示し注目を惹いてゐる 「のク新税創設の絆々は端しなくも栗者に異常なる觸動を與へ、更に紡たなる問題を投じ同税を続つて歌樂海梁者活觸題として反對運動は表面化せんとしつゝある折柄、八日付の某紙に語つた本税立案の本家經濟部山梨稅務司格が時局の重大性に即應して來る十二月一日から實施せんとする新稅 『遊興飲食稅』は花街及びネオン街業者の

所定の手續ぎを了しい 日本社に審託、よつて 日本社に審託、よつて

て直ち

端にした

節

を では 節炎運 なって ある では 節炎運 なが でき では が ス 節約 で で は 節炎運

れば冷酒、

冷かでん?

屋が悲鳴

辯

業者

に

ノく描に火戦

手足を奪は

捕り孤立せる友軍への手士産るが、壯烈血を以て綴る勇製

経以て巖る勇戰、或ひは使命の途上彈雨の危職保した皇軍將兵の奮戰は今更らながら統國

屈せぬ豪氣

談稿れ中以久に、動車隊任よ屋歩つ間 と神偏、隊下振歸ン車をに務り市兵兵づ守 しのののりり等に發破を手手上けし て設に、 で設に、 で表記を接見、環果権種等ので

元山上等兵

の約撃るにと隊死戰りに敵

が最後の勇を が大皇陛下萬豊 が大皇陛下萬豊 が大皇陛下萬豊

酸るれカロ

敵の食糧分捕り 神谷上等兵の手柄・神谷上等兵の手柄・

この異民種族教育問題を當 洋人として亡命の身を 和の大理想に捧げ建國 和の大理想に捧げ建國 一翼たらんと報國の誠 一翼たらんと報國の誠 一翼たらんと報國の誠 一翼たらんと報國の誠 一翼たらんと報國の誠 一翼たらんと報國の誠

で東洋人

消實體の認識强化

は、小統二数をとり統位置によって、 を愛し数甲車を左り地に が表示が如き敵愾心と後間統を のるが如き敵愾心と機関統を のるが如き敵愾心と機関統を のるが如き敵愾心と機関統を のるが如き敵愾心と機関統を を愛されるもなに屈せず手榴 を変し数甲車を左凹地に 選走 を変し数甲車を左凹地に 選走 を変し数甲車を左凹地に 選走 を変し、 を変し、

射響不能となり分除長の命に 集中射響をうける中に尾輪で が変のを設見しこれを射撃中 がでいため輪地を引れば装甲車で を心撃していたの を心撃していたが がれて中除の がながいかれて中除長が がれて中除り がいれて中除り がいれば、 がいれて中除長が がれて中除り がいれて中除長が がいれて中に をのを のいため がいれて がいまる。 と待り がいれば をいる。 がいる。 がい。 がいる。 がい。 がいる。 がいる。

が、右につき新京吉野町の某が、右につき新京吉野町の某様に加へてこの雲行に額を集

御

見

洩趨馳 れの付

も上げ

可有之この間が

存む不取敢紙上を以て御挨拶申上候上筈の處何分混雑中の事こて御尊名御伺造力被下候段厚く御禮申上候實は一々拜職の出火の際は御多忙中にも不拘早速御

川誠

是 ③上

四難

一局

奉天醫大繪畵展

一般の注目を集めてゐる **公會堂設計懇談** 謝近火御見舞 謝近火御見 おでん

Ξ

쌼

町

謝近火御見舞

强工

八五, 書七 三松

サロン南

智能(3)六一五六番

謝近火御見舞

海舞場としても萬全を期して 九日午後七時から太子堂で斯 道に對し關係の深い市内各槍 郵四店組合、カフェー組合 駆び、興行關係の意見を求め 我等の記念公倉堂の復興工事 を登職一を目指して起工せ んとする講堂については斯界 の権威中山克己抜師によつて 設計中のところ、この程この では新界のできらに 謝近火御見舞 カフェーラ ウイチエンゾン高會

イカ

謝近火御見舞

電話(3)二三七九番

村上齒科醫院

謝近火御見舞

謝近火御見舞

三笠町三/二七三番 行

謝近火御見

金 泰

百

電話代表(3)六六二十番

謝近火御見舞

新京特別市佈告第四二號

●(33) 三人一大 三人一大 三人一 三人一 三人一 三人一

謝近火御見舞 大本商行支店

井上誠昌堂藥房

工水第九九號

靜 遠

湯タンポト寝爐 河景 商店

祝 +: 町 月 翁小骨硯書 翠裂董墨**黃** 総潰、綱橋、ラマレ等婦人向 小 爨 地 頒 医腫前後の諸 陶と其 他 各 種 骨 蘆 小 晶、盆) が 別等々と清明の墨元、明、清代大家の作品と現代名士の筆師 十十九日日日 太 **E** 子 盘 夜







の扉が、かるく叩かれはこと人気がない。間もなく部と人気がない。間もなく部

す。シャルパンテイエさん、電

にまつ黒な影が笑つ立つた。 やうにして、その部屋のまへ やうにして、部下灯の蔭を拾ふ 特吉の父(1)

虫

美 郎

太果

列車發着表

日業内

〇の御

用

選

で行った。 『やつと來たよ。君は、來て 『やつと來たよ。君は、來て で真はらと思つてな。』 『よろしい、結構だ。』 『よろしい、結構だ。』 『よろしい、結構だ。』 『よろしい、結構だ。』 『だが、此態ですつばりと。 『だが、此態ですつばりと。 どうにも今夜は××機関員に に委せるがね。質をいふと、

海島が砲隊の合ひ間に監っ 立つ陽のなかい、かまやく鑑 を
するませ無限
を
方るませ無限

編殿兄弟商会 コーロハー

荷水堂鍼灸院

構成社

六五八八香

郵政局前角西入州町一ノ五中央

き出す禁煙のなかで観けられてり合ひ、隙を窺ふやらな沈 めたあの時期が

新京吉野町二丁目

はなつが

新慶整骨院 1000年

お茶道具は

太さといふより嘲弄のやらに、「扇手で隠しを引きだしてな ら、ちと哀れな気もするな。」 人が着る、ながい楠のあまり ルパンテイエを簔台に

方では、 カーは、 カー・カーの分分分分分分分分分分分分分分分の。 カーは、 カー・カーのののである。 カー・カーのののである。 カー・カーのののである。 カー・カーのののである。 カー・カーののである。 カー・カー・カーののである。 カー・カーののである。 カー・カーのである。 カ

募集

関都紹介所聞る二五〇九

木松接骨院

央通り

女中女給事務員ボーイ其他

ほれつぎ

募集の職業紹介



西京御崎人の多衣と 「交換自由」 「交換自由」 「で換自由」 「で換自由」

割がん

大龍

銀方東路

大和運輸公司 電(3)大九〇八番 電(3)大九〇八番 電(3)大九〇八番

口は整腹に、原は、肱ではねっと離を立てる間もなく、銃

取り出した、作業衣のやうな立ちあがつたが、ふと靖吉が立ちあがつたが、ふと靖吉が

なるまい。分つたよ、君のはあるまい。分つたよ、君のはあるまい。分つたよ、君の さんも示さない、相手の底 たっと示さない、相手の底 はは実いても、抉つても反 しかし、いま、××機關員 のシャルバンテイエは水のや のシャルバンテイエは水のや 、 ぢきに喋れなくな

サ 船町 最3 四五〇一番 ・ 中央看護編會 ・ 中央看護編會 ・ 中央看護編會

まナマルイ 本日より電話閉通報告申上候 新京大猫病院 新京大猫病院 量結婚媒介部 は御用は専門の常店に限る 寛士町二八一四 第二十二八一四 第二十二八一四 第二十二八一四 第二十二八一四 第二十二八一四 第二十二八一四 五四六七

高價



篇 正社



中来質問為

4 氣便スス炎

· · ·

電話金 見電話店駅

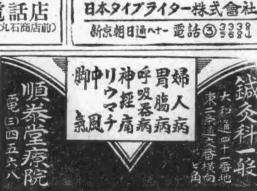


ドラミン解別党代書館内新京東一條通五六新京東一條通五六

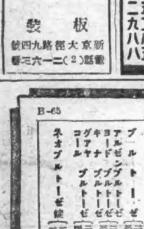
語タイピスト養成 規則書進呈 長 業

特效樂安心散特別あり聞試着を公本情別あり聞試着を公本情別を開催を表、計 題 最 版 開催 第一十八番地 意 光 堂療院

月賦販賣



五九五三③電 職社日朝 五二萬条二



一年候



ンモルホトウア血造

定指院病學大各



(A) 0-10-10 易・調金融 与 新 · 版庫



を體力を鍛へるブルトーゼと、鐵の健康を築き上げてせ、鐵の健康を築き上げて



力体きめきめ 養榮るけつを









污染入印 膨 校町東三条連角 ・脱章は = 0 T.

技術正確 一號鐵鐵鐵 **尚務人には通師を要せず** 場質調製にも題ず 鑛業法二 責任出願 及從分詞測 製 圖定探查量 N 近視學圖並出額手槍 洲鑛業社



新京祝 南廣場與銀樓 電話了二六四四番 町三丁目

種業營

業用

(海外御視察等に特に御便利です)、(海外御視察等に特に御便利です)、(海外支店出張所四十一紀所、其他主要各地取引先有)世界各地向浸金を御便利に御取扱致します世界各地向浸金を御便利に御取扱致します

立本店 金金機 濱 **萱億多千七百拾五萬圓 萱億圓 (全額拂込濟)** の御収次き。内地への粗替へも迅速に御取扱致します小口預金十回より、定期預金百個より、其地内地に全

横濱 新京日本橋通三十四、 正金 銀 電話代表 行 CED 一大田 一店京

